



2022年1月31日

各 位

会社名 エバラ食品工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 森村 剛士
(コード番号: 2819 東証第1部)
問合せ先 取締役 半田 正之
(TEL. 045-226-0107)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年10月26日に公表した2022年3月期の通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,634	2,760	2,856	1,996	200.63
今回修正予想 (B)	42,848	3,005	3,251	2,352	236.52
増減額 (B-A)	214	244	394	355	—
増減率 (%)	0.5	8.9	13.8	17.8	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	51,334	3,627	3,738	2,506	247.40

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

2. 修正の理由

当第3四半期累計期間において、11月の営業自粛要請解除に伴う外食産業の来店客数の回復もあり、業務用商品の売上が計画を上回る水準で推移したことに加え、第3四半期(10～12月)にかけて野菜価格が安定した影響により『浅漬けの素』の売上が伸長した結果、前回公表した業績予想を上回る見込みとなりました。利益面につきましては、当第3四半期累計期間の連結業績結果を勘案したほか、当社グループにおける感染防止対策を引き続き徹底したことにより、一部経費が未使用となった影響や新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う第4四半期(1～3月)の経費見直し等を加味した結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回公表した業績予想を上回る見込みとなりました。新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響は依然として不透明な状況が続いており、今後の状況等により事業環境が変化し、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

以上